

科目名	SPI対策 I -②						
科目名(英)	Synthetic Personality Inventory						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	乗鞍 弘毅		
実施年度	2020	実施時期	後期	担当者実務経験	進学塾講師		
対象学科・学年	エアライン1年						
授業概要	言語分野では、言葉の意味や話の要旨を的確にとらえて理解できる力を養い、非言語分野では、数的な処理や、論理的思考力養う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					SPI3の形式の言語問題に慣れ、言語知識を増やすことができる。	
		○				SPI3頻出の非言語問題の解法を学び、基本問題を確実に解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	全解SPI実践問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	§ 1-1 同意語 § 1-2 反対語 § 1-15 グラフ・図表・表記法			理解できなかった問題を繰り返す。		
	2	§ 1-3 二語関係 § 1-4 複数の意味 § 1-16 PERT法			理解できなかった問題を繰り返す。		
	3	§ 1-5 語句の意味 § 1-6 ことわざ・慣用句 § 1-17 フローチャート			理解できなかった問題を繰り返す。		
	4	§ 1-18 ブラックボックス			理解できなかった問題を繰り返す。		
	5	§ 1-19 物の流れと比率			理解できなかった問題を繰り返す。		
	6	§ 1-21 分布図の読み取り			理解できなかった問題を繰り返す。		
	7	§ 1-22 n進法			理解できなかった問題を繰り返す。		
	8	§ 1-23 命題			理解できなかった問題を繰り返す。		
	9	§ 1-24 推論(1)			理解できなかった問題を繰り返す。		
	10	§ 1-24 推論(2)			理解できなかった問題を繰り返す。		
	11	<復習> § 1-1 同意語 § 1-2 反対語 § 1-15 グラフ・図表・表記法			理解できなかった問題を繰り返す。		
	12	<復習> § 1-3 二語関係, § 1-4 複数の意味 § 1-16 PERT法			理解できなかった問題を繰り返す。		
	13	<復習> § 1-5 語句の意味 § 1-6 ことわざ・慣用句 § 1-17 フローチャート			理解できなかった問題を繰り返す。		
	14	非言語頻出分野復習1					
15	非言語頻出分野復習2						
評価方法	期末テストの点で100%評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	自己表現						
科目名(英)	Communication Skills						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	森永 久美子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	航空会社にて客室乗務員として勤務		
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	社会人になる上でのマナーや身嗜み、教養知識を身につけ、就職活動における企業研究・履歴書添削・面接指導を行い就職内定へ繋げる。 ①就職活動に必要な書類(履歴書・ES)作成 ②求職受付面接の指導・面接のための自己分析 ③航空業界の採用情報、企業が求める人材・資質について学ぶ ④企業研究・業界研究を徹底する						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		理解職業を理解し、行動に移せることができる	
	○			○		考える力を身につけ、伝える力を身につけることができる	
	○					好感のもてる表情や口調で伝えることができる	
				○		自身の立場をわきまえて行動し、周囲へ配慮することができる	
テキスト・教材 参考図書	就職活動ガイドブック、求人票、受験者報告書、配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション(自己表現の受け方)				テーマに沿って準備をする	
	2	職業理解①				テーマに沿って準備をする	
	3	職業理解②				テーマに沿って準備をする	
	4	職業理解③				テーマに沿って準備をする	
	5	求職面接指導				テーマに沿って準備をする	
	6	求職受付面接指導ESの作成				テーマに沿って準備をする	
	7	求職受付面接指導ESの作成				テーマに沿って準備をする	
	8	自己PR				テーマに沿って準備をする	
	9	志望動機				テーマに沿って準備をする	
	10	求職面接指導				テーマに沿って準備をする	
	11	求職面接指導				テーマに沿って準備をする	
	12	求職面接指導				テーマに沿って準備をする	
	13	求職面接指導				テーマに沿って準備をする	
	14	求職面接指導				テーマに沿って準備をする	
	15	まとめ				テーマに沿って準備をする	
評価方法	(1)授業態度 (2)意欲・学習意欲で確認する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度				◎		50%
	意欲・努力				◎		50%
履修上の注意	欠席が6回以上となる場合は、単位未取得となる						

科目名	アマデウスシステム実務 I						
科目名(英)	AMADEUS I						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	井上 ゆかり		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	航空会社にてグランドスタッフとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科・1年						
授業概要	世界トップシェアを誇るAMADEUSシステムで航空券の予約について学び、検定においてSpecialist(初級)の合格を目指す。その中で、航空業界で使用する専門用語(2レター・3レターや機材名など)や航空業界の予約システムについての知識を深め、業界においてマルチに活躍できる人材となることを目標とする。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					航空会社2レターや都市・空港の3レターを覚え、小テストにおいて満点を取ることができる。	
	○					入力エントリを習得し、予約操作を一人で行うことができる。	
		○				入力エントリを問題によって使い分け、応用することができる。	
			○			スムーズなタイピングを習得し、60分以内で丁寧に問題を解くことができる。	
	○					Specialist(初級)に合格することができる。	
テキスト・教材 参考図書	テキスト:アマデウスユーザーガイド予約、クイックガイド(早見表)、オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	シラバス配布、アマデウス概要説明、サインイン・サインアウト				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
	2	情報検索①(各種コード検索、都市・空港・国コード)				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
	3	情報検索②(各種コード検索、航空会社・機材コード)				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
	4	情報検索まとめテスト・タイムテーブル・ダイレクトアクセス				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。	
	5	タイムテーブルまとめテスト・ヘボン式ローマ字				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。	
	6	空席照会				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
	7	PNR作成演習①(基本PNR作成、PNRの再表示、PNR中断)				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
	8	PNR作成演習②(PNRの取り出し、乗継PNR)				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
	9	PNR作成演習③(小児・幼児PNRの作成)				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
	10	PNRのキャンセル・修正・変更				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
	11	PNR作成まとめテスト①(基本編)				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
	12	SSR・OSI入力(MEAL・FFP・SEAT)				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。	
	13	検定模擬試験①、採点、解説				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
	14	検定模擬試験②、採点、解説				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。	
15	定期試験				授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
評価方法	(1)授業内で定期試験を実施する。(2)検定を受験する。(3)小テストを数回実施する・宿題を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○	◎	○		50%
	検定取得状況	◎	○	◎	○		5%
	小テスト・宿題提出状況	◎	○		○		45%
履修上の注意	クイックガイドに頼らず出来る限りエントリを覚えること						

科目名	運輸概論						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	桑原 武志		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	旅行業関連会社において企画・実務を担当		
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	志望職種、会社の選択において、その選択肢を広く持つための知識を身につける。自らの所属するであろう業界の形態・特徴を理解することで、業界における志望職種の役割や位置づけの確認を行う。業界全体の歴史や概要に対する理解を深め、業界の持つ課題や将来展望についての知識を身につける。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				業界の社会的役割を理解し、現状と課題をまとめることができる。	
	○					航空・鉄道・海上輸送の特色や長短所を理解し、項目を挙げて違いを表現することができる。	
	○					運輸業態別の歴史と役割を理解し、説明を行うことができる。	
	○			○		運輸業界で求められる人材像を把握し、面接での質問の意図を理解した回答を準備できる。	
テキスト・教材 参考図書	プリント教材						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	運輸概論を学ぶことの意味を考える 現在の理解度ミニテスト(都道府県名、県庁所在地)					
	2	運輸業界の種類と性格(役割と現状を理解し、進路決定に役立てる)					
	3	航空輸送の歴史と役割を理解する 鉄道輸送の歴史と役割を理解する				振り返りレポートの提出	
	4	航空会社の職種及び職種ごとの仕事内容を学ぶ 鉄道会社の職種及び職種ごとの仕事内容を学ぶ					
	5	主要航空会社のプロフィール					
	6	運輸業界が求める人材と、面接での質問の意図					
	7	日本地理(新幹線駅名・観光地・都市及び空港コード)					
	8	授業内容の振り返り				確認テストの実施	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)定期試験(科目判定テスト)の実施 (2)運輸業界に関する宿題・レポートの作成・提出 以上を下記の観点・割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	宿題・レポート	○	◎				50%
履修上の注意							

科目名	航空実務 B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	波多野 里美		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	航空会社にて国際線客室乗務員として勤務		
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	航空業界を取り巻く様々な社会情勢を把握し、航空業界の基礎的な業務知識を身に付ける。夏期実習を踏まえて、航空会社の様々な仕事内容についての理解を深める。航空業界で働いていくために必要な専門用語の基礎知識を理解を深める。空港カウンターやモックアップで演習することにより、さらに基礎的な対応力や確認事項の理解を身に付ける。						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:	○ その他: △	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					航空会社を取り巻く、様々な社会状況を理解し、説明することが出来る。	
	○					空港や飛行機に関連する基本的事項について、説明ができ、状況を理解することが出来る。	
	○			○		グランドスタッフの仕事について、仕事内容を理解し説明が出来る。初歩的なカウンターサービスを演習で実践できる。	
	○			○		キャビンアテンダントの仕事について、仕事内容を理解し説明できる。初歩的な機内サービスを演習で実践できる。	
○					航空業界関連の専門用語についての知識があり、使用することが出来る。		
テキスト・教材 参考図書	ANAグランドスタッフ入門						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	夏期発表会の発表要領-旅客ハンドリング業務について				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	夏期実習の発表会				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	3	夏期実習の発表会				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	4	グランドスタッフの仕事-旅客ハンドリング業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	グランドスタッフの仕事-旅客ハンドリング業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	6	グランドスタッフの仕事-旅客ハンドリング業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	7	グランドスタッフの仕事-旅客ハンドリング業務				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	8	CAの仕事-機内サービス・業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9	CAの仕事-機内サービス・業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	10	CAの仕事-機内サービス・業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	11	CAの仕事-機内サービス・業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	12	CAの仕事-機内サービス・業務				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	13	航空業界用語について				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	14	航空業界用語について				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
15	学年末試験				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
評価方法	1) 学年末試験の成績を考慮する。(2) 小テストを2回実施する。(3) 夏期実習発表会の成果発表の内容以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	学年末試験	○					70%
	小テスト	○					10%
	発表会の成果・内容	○			○		20%
履修上の注意	出席が講義回数の3分の2に満たない場合は、科目単位を与えない。各航空会社の時刻表・地図帳を持参してください。資料プリント等を配布しますので、専用ファイルを持参してください。						

科目名	地理 I						
科目名(英)	Japanese Geography						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	島 一弘		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	麻生にて人文科目を指導		
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	日本人として日本の地理を理解しその自然とその風土・文化を愛し、他国の人にも説明することができるように目指す。また日本人としてのアイデンティティを見出し誇りを持つことを目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					日本国民としての地理を理解する基本用語の理解ができる。	
		○				基本的な日本の地理・風土・文化が説明できる。	
				○		常にあらゆるものに対して「なぜ」という疑問を持ち、問題に取り組む姿勢を持つ。	
テキスト・教材 参考図書	地図脳ワーク・プリント・地図帳						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	日本のすがた			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	北海道地方ののすがた			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	東北地方のすがた			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	関東地方のすがた			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	中部地方のすがた			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	近畿地方のすがた			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	中国・四国地方のすがた			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	九州・沖縄地方のすがた			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)宿題・レポートを毎回実施する。(2)学習意欲(居眠り・私語)は減点以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート	◎	◎		◎		60%
	学習意欲	◎	◎		◎		40%
履修上の注意							

科目名	航空業界対策 I -A						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	横山 誠		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	*旅行会社にて8年勤務(営業、運賃、海外企画)、航空会社にて14年勤務(ベトナム航空、アジアナ航空、営業)		
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	航空業界は、例年がない激動の時代です。今現在新型コロナウイルスの影響により運休が相次ぎ、非常に困難な状況になっています。この講義では、こういった状況下におけるエアラインへの影響、LCCの台頭における競争激化の背景など、今現場で起きていることを国際線を中心に話をしていきます。さらに航空業界における基礎知識の用語、仕組みなども解説をしていきます。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				LCCの安さの仕組みを把握し、業界の構造を理解し説明する事が出来る	
	○					航空会社コード、空港コードを理解し、航空業務を円滑に進める知識の習得	
	○					航空業界で使う業界用語の習得し航空業務を円滑に進める知識の習得	
	○					昨年まで多かったインバウンド需要の状況を把握し説明する事が出来る	
	○					様々な外資系航空会社を例に、航空会社の特徴を把握し説明することができる	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	自己紹介・11月ソウル アシアナ研修について説明					
	2	LCCの安さの秘密について。FSCとの比較					
	3	コロナウィルスに伴う航空業界の現状、インバウンド・アウトバウンド現状					
	4	航空業界用語(都市コード、航空会社コード)、福岡空港について					
	5	航空業界用語(都市コード、航空会社コード)小テスト、航空運賃にかかる税金について					
	6	その他外資系航空会社の特徴、航空業界用語(その他用語)					
	7	航空業界におけるクレームについて、アライアンス、授業総括					
	8	テスト					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを2回実施する。授業態度について評価する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト/授業態度	◎	◎		◎		50%
履修上の注意							

科目名	航空業界対策 I-B						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	波多野 里美		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	航空会社にて国際線客室乗務員として勤務		
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	航空業界を取り巻く様々な社会情勢を把握し、航空業界の基礎的な業務知識を身に付け、面接時に的確な発言が出来るようになる。また、航空業界対策として、就職面接に積極的な対応が出来る様な意欲を持てるようになる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					航空会社を取り巻く、様々な社会状況を理解し、対応することが出来る。	
	○			○		自己PRや志望動機を確実に発言できる。	
	○			○		航空業界対策・面接対策に対して、積極的に望んでいる。	
テキスト・教材 参考図書	ANAグランドスタッフ入門						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	航空業界をとりまく状況について				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	航空業界対策・面接対策				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	航空業界対策・面接対策				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	航空業界対策・面接対策				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	航空業界対策・面接対策				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	6	航空業界対策・面接対策				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	7	航空業界対策・面接対策				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	8	航空業界対策・面接対策				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	1) 面接時の態度を考慮する。(2) 面接時の志望動機、自己PR等などの発言や内容についての考察。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	面接時の対応力	○			○		50%
	面接時の行動	○			○		50%
履修上の注意	出席が講義回数の3分の2に満たない場合は、科目単位を与えない。						



科目名	一般教養 I - ②						
科目名(英)	Common sense						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	島 一弘		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	麻生専門学校にて人文科目指導		
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	日本という社会において意思疎通を図れる用語や計算を駆使することができるようことを目指す。また日本社会はもちろん外国の社会の仕組みやその役割・機能を理解習得を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					日本国民としての社会を理解する基本用語の理解ができる。	
		○				基本的な数学計算ができる。	
				○		常にあらゆるものに対して「なぜ」という疑問を持ち、問題に取り組む姿勢を持つ。	
テキスト・教材 参考図書	わかる！一般常識(新星出版社) トレーニングコース基礎指導5回コース(実務教育出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	四則の計算①			復習で理解を深め、練習を重ねること		
	2	四則の計算②			復習で理解を深め、練習を重ねること		
	3	方程式①			復習で理解を深め、練習を重ねること		
	4	方程式②			復習で理解を深め、練習を重ねること		
	5	比例と反比例			復習で理解を深め、練習を重ねること		
	6	一次関数			復習で理解を深め、練習を重ねること		
	7	二次関数			復習で理解を深め、練習を重ねること		
	8	図形			復習で理解を深め、練習を重ねること		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業内での試験(筆記)を実施する。(2)宿題・レポートを毎回実施する。*学習意欲(居眠り・私語)は減点以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	宿題・レポート		◎		◎		20%
	学習意欲(居眠り・私語)				◎		20%
履修上の注意							

科目名	実用英語 I - ①(A1クラス)						
科目名(英)	Prctical English I - ①						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	津田 徳子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	外資系企業の秘書として勤務		
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	国際的なビジネスの場で必要とされる英語の能力を養う事を目的に、TOEICの問題を中心にリスニング・リーディングの演習を行います。また、文法・語彙の強化に努め、TOEICのスコアアップを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					TOEIC問題を解く際に必要な文法を理解する事ができる。	
	○					TOEIC頻出単語・熟語を覚え、使用する事ができる。	
	○					様々な国の発音に慣れ、話の内容を理解する事ができる。	
	○					ビジネス文書や記事を読み、内容を理解する事ができる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TOEIC Listening&amp;Reading 問題集5 (国際ビジネスコミュニケーション協会)</li> <li>・TOEIC L&amp;R出る単特急銀のフレーズ(朝日新聞出版)</li> </ul>						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	シラバス確認、TOEICテストの概要と学習方法、聴解の勉強方			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	2	Listening(Section1 &2)、Reading Part 5(語彙①)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	3	Listening(Section3&4)、Reading Part 5(語彙②)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	4	Listening(Section 5 &6)、Reading Part5(文法 品詞①)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	5	Listening(Section7 &8)、Reading Part5(文法 品詞②)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	6	Listening(Section9 &10)、Reading Part6(長文空所問題①)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	7	Listening(Section11 &12)、Reading Part6(長文空所問題②)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	8	Listening(Section 13&14)、Reading Part7(長文読解①)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	9	Listening(Section 15&16)、Reading Part7(長文読解②)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	10	Listening(Section 17&18)、Reading Part7(長文読解③)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	11	Listening(Section 19&20)、Reading Part7(長文読解④)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	12	演習問題 Test 1 (Listening)、解答解説			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	13	演習問題 Test 1 (Reading)、解答解説①			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	14	演習問題 Test 1 (Reading)、解答解説②			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	15	公式問題分野別学習 Reading:Part 5 Listening:Part1			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	16	Reading:Part 5 Listening: Part 2			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	17	Reading:Part 5 Listening: Part 2			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	18	Reading:Part 6 Listening: Part 3			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	19	Reading:Part 6 Listening: Part 3			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	20	Reading:Part 6 Listening: Part 3			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	21	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	22	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	23	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	24	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	25	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	26	総合問題 Test 2 (Listening)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	27	総合問題 Test 2 (Listening) 解答解説			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	28	総合問題 Test2 (Reading)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	29	総合問題 Test2 (Reading) 解答解説			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	30	総合問題 Test2 (Reading) 解答解説			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施 (2)単語テストを毎週実施 (3)朝自習プリント、宿題等の提出 (4)検定結果以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 TOEICの受験結果を評価する。450点以上を100点、425点~445点を90点、400~420点を80点、360~395点を70点、270点以上を60点以上を下記の観点・割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト(単語テスト)	○	○				25%
	朝自習プリント・宿題	○	○		○		15%
TOEIC検定	○	○				10%	
履修上の注意	・辞書を持参(スマホ使用禁止) ・提出物は期限厳守 ・授業外での自主学習						

科目名	実用英語 I - ②(A2クラス)						
科目名(英)	Prctical English I - ②						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	深川信子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	予備校・塾にて英語講師として勤務		
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	国際的なビジネスの場で必要とされる英語の能力を養う事を目的に、TOEICの問題を中心にリスニング・リーディングの演習を行います。また、文法・語彙の強化に努め、TOEICのスコアアップを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					TOEIC問題を解く際に必要な文法を理解する事ができる。	
	○					TOEIC頻出単語・熟語を覚え、使用する事ができる。	
	○					様々な国の発音に慣れ、話の内容を理解する事ができる。	
	○					ビジネス文書や記事を読み、内容を理解する事ができる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TOEIC Listening&amp;Reading 問題集5 (国際ビジネスコミュニケーション協会)</li> <li>・TOEIC L&amp;R出る単特急銀のフレーズ(朝日新聞出版)</li> </ul>						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	シラバス確認 Listening:Part3 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	2	Listening: Part3 Reading: Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	3	Listening: Part3 Reading: Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	4	Listening: Part3 Reading: Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	5	Listening: Part3 Reading: Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	6	Listening: Part4 Reading: Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	7	Listening: Part4 Reading: Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	8	Listening: Part4 Reading: Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	9	Listening: Part4 Reading: Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	10	Listening: Part4 Reading: Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	11	Listening: Part4 Reading: Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	12	Listening: Part4 Reading: Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	13	Listening: Part1 Reading: Part5				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	14	Listening: Part2 Reading: Part5				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	15	Listening: Part2 Reading: Part5				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	16	Listening: Part2 Reading: Part6				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	17	Listening: Part3 Reading: Part6				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	18	Listening: Part3 Reading: Part6				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	19	Listening: Part3 Reading: Part6				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	20	Listening: Part3 Reading: Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	21	Listening: Part3 Reading: Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	22	Listening: Part3 Reading: Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	23	Listening: Part4 Reading: Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	24	Listening: Part4 Reading: Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	25	Listening: Part4 Reading: Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	26	Listening: Part4 Reading: Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	27	Listening: Part4 Reading: Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	28	Listening: Part4 Reading: Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	29	Listening: Part4 Reading: Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
	30	Listening: Part4 Reading: Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認すること	
評価方法	(1)定期試験を実施 (2)小テスト(単語テスト)を毎週実施 (3)朝自習プリント、宿題等の提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎					25%
宿題・レポート	◎	○		○		25%	
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辞書を持参(スマホ使用禁止)</li> <li>・提出物は期限厳守</li> <li>・授業外での自主学習</li> </ul>						

科目名	実用英語 I - ②					
科目名(英)	Practical English for STEP 2nd Grade I - ②					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	蟻川 信三	
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	福岡県立高等学校にて英語教師として27年間勤務	
対象学科・学年	エアライン科 1年生					
授業概要	就職活動の資格試験として、実用英語検定試験2級合格を目指します。英語検定2級の問題を中心に、リーディング・リスニングを中心に演習を行います。また、英文読解力・語彙の強化に努め、英語の4技能(読む・書く・聞く・話す)の表現力を高めることを目的とします。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					語彙: 英語検定2級レベルの語彙(約4000~5000語)の意味が理解できるようになる
	○					読む: まとまりのある説明文を理解し、実用的な文から必要な内容を読み取ることができるようになる
	○	○				書く: 日常生活での話題についてある程度まとまりのある文章を書くことができるようになる
	○					聞く: 様々な内容の英語を理解し、正しく聴き取れるようになる
	○					話す: 日常生活での出来事について説明したり、用件を伝えたりすることができるようになる
テキスト・教材 参考図書	・旺文社 英検2級DAILY20日集中ゼミ ・旺文社 できる順パス英検2級 1700語					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	序説: 名詞・形容詞・副詞の役割と文の要素(S/V/O/C/M)			左記の内容をそれぞれ言えるように覚えること	
	2	序説: 英語の5文型と文の構造			各文型の基本構造を言えるように覚えること「英検2級集中ゼミ」を予習していただくように	
	3	1日目: 短文の語句空所補充問題①(単語)解説&問題			「英検2級集中ゼミ」を予習していただくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	4	2日目: 短文の語句空所補充問題②(熟語)解説&問題			「英検2級集中ゼミ」を予習していただくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	5	3日目: 短文の語句空所補充問題③(文法)解説&問題			「英検2級集中ゼミ」を予習していただくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	6	4日目: 短文の語句空所補充問題④(語法)解説&問題			「英検2級集中ゼミ」を予習していただくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	7	5日目: 長文の語句空所補充問題①解説&問題「A」・「B」			「英検2級集中ゼミ」を予習していただくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	8	6日目: 長文の内容一致選択問題①解説			「英検2級集中ゼミ」を予習していただくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	9	6日目: 長文の内容一致選択問題①問題「A」・「B」			「英検2級集中ゼミ」を予習していただくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	10	7日目: 長文の内容一致選択問題②解説			「英検2級集中ゼミ」を予習していただくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	11	7日目: 長文の内容一致選択問題②問題「A」・「B」			「英検2級集中ゼミ」を予習していただくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	12	8日目: 英作文の問題① 解説			「英検2級集中ゼミ」を予習していただくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	13	8日目: 英作文の問題① 問題			「英検2級集中ゼミ」を予習していただくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	14	9日目: 会話の内容一致選択問題① 解説&問題			「英検2級集中ゼミ」を予習していただくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	15	10日目: 文の内容一致選択問題① 解説&問題			「英検2級集中ゼミ」を予習していただくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	16	演習: リスニング特訓①			「英検2級集中ゼミ」を予習していただくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	17	11日目: 【応用】短文の語句空所補充問題単語⑤			「英検2級集中ゼミ」を予習していただくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	18	12日目: 【応用】短文の語句空所補充問題熟語⑥			「英検2級集中ゼミ」を予習していただくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	19	13日目: 【応用】短文の語句空所補充問題文法⑦			「英検2級集中ゼミ」を予習していただくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	20	14日目: 【応用】短文の語句空所補充問題語法⑧			「英検2級集中ゼミ」を予習していただくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	21	演習: リスニング特訓②			「英検2級集中ゼミ」を予習していただくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	22	15日目: 【応用】長文の語句空所補充問題②-A			「英検2級集中ゼミ」を予習していただくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	23	15日目: 【応用】長文の語句空所補充問題②-B			「英検2級集中ゼミ」を予習していただくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	24	演習: リスニング特訓③			「英検2級集中ゼミ」を予習していただくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	25	16日目: 【応用】長文の語句空所補充問題③-A			「英検2級集中ゼミ」を予習していただくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	26	16日目: 【応用】長文の語句空所補充問題③-B			「英検2級集中ゼミ」を予習していただくように。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	

	27	17日目:【応用】英作文の問題② 解説	「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること				
	28	17日目:【応用】英作文の問題② 問題	「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること				
	29	演習:リスニング特訓④	「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること				
	30	後期定期考査(筆記)					
評価方法	① 定期考査を実施する(筆記) ② 月曜日から金曜日まで、毎朝授業前に単語の小テストを行う ③ 宿題を数回課す。④ 授業態度(授業中の取り組みや発表)を評価する 以上を下記の観点・割合で評価する 成績評価基準は S:90点以上 A:80点以上 B:70点以上 C:60点以上 D:59点以下 とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎	○		○		25%
	宿題・レポート	◎	○		○		5%
	授業態度	◎	○		○		20%
履修上の注意	①授業前の予習は必ず行うこと。復習より予習の方が大切である。 ②辞書(電子辞書可)を必ず持参すること。 ③筆記用具は必ず持参すること ④授業中のスマホ等の使用は絶対に禁止!(スマホ等での辞書アプリ禁止)						

科目名	実用英語 I - ②					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	内丸 誌帆	
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	専門学校にて講師として勤務	
対象学科・学年	エアライン科 1年					
授業概要	英検準2級合格を目標とする。 基本的な文法・単語を理解し、ホテル・空港、またそれに準ずる業務に必要な最低限度の英語力を身につける。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					準2級程度の文法を理解し、過去問題を解くことができる。
	○	○				頻出のイディオムを含んだ文章(10文程度)を暗唱・ライティングできる
				○		宿題・授業内での課題を期限内に提出できる
テキスト・教材 参考図書	旺文社 2020年度版 英検準2級 過去6回 全問題集／でる準パス単 英検準2級					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	実用英語1	短文の語句空所問題		単語テストに向けた学習	
	2	実用英語2	短文の語句空所問題		単語テストに向けた学習	
	3	実用英語3	短文の語句空所問題		単語テストに向けた学習	
	4	実用英語4	会話文の文空所補充		単語テストに向けた学習	
	5	実用英語5	会話文の文空所補充		単語テストに向けた学習	
	6	実用英語6	会話文の文空所補充		単語テストに向けた学習	
	7	実用英語7	長文の語句空所補充		単語テストに向けた学習	
	8	実用英語8	長文の語句空所補充		単語テストに向けた学習	
	9	実用英語9	長文の内容一致選択		単語テストに向けた学習	
	10	実用英語10	長文の内容一致選択		単語テストに向けた学習	
	11	実用英語11	長文の内容一致選択		単語テストに向けた学習	
	12	実用英語12	英作文問題① / リスニング		単語テストに向けた学習	
	13	実用英語13	英作文問題① / リスニング		単語テストに向けた学習	
	14	実用英語14	英作文問題② / リスニング		単語テストに向けた学習	
	15	実用英語15	英作文問題② / リスニング		単語テストに向けた学習	
	16	実用英語16	短文の語句空所問題		単語テストに向けた学習	
	17	実用英語17	短文の語句空所問題		単語テストに向けた学習	
	18	実用英語18	短文の語句空所問題		単語テストに向けた学習	
	19	実用英語19	会話文の文空所補充		単語テストに向けた学習	
	20	実用英語20	会話文の文空所補充		単語テストに向けた学習	
	21	実用英語21	会話文の文空所補充		単語テストに向けた学習	
	22	実用英語22	長文の語句空所補充		単語テストに向けた学習	
	23	実用英語23	長文の語句空所補充		単語テストに向けた学習	
	24	実用英語24	長文の内容一致選択		単語テストに向けた学習	
	25	実用英語25	長文の内容一致選択		単語テストに向けた学習	
	26	実用英語26	長文の内容一致選択		単語テストに向けた学習	

	27	実用英語27 英作文問題① / リスニング	単語テストに向けた学習				
	28	実用英語28 英作文問題① / リスニング	単語テストに向けた学習				
	29	実用英語29 英作文問題② / リスニング	単語テストに向けた学習				
	30	実用英語30 学期末試験					
評価方法	(1)定期試験(2)小テスト(3)宿題・提出物を実施する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト	○	○				30%
	宿題・レポート		○				20%
履修上の注意	課外だけでなく講義内でも単語テストを実施し、期末の成績に反映されるので自宅学習を徹底すること						

科目名	実用英語 I -②					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	波多野 里美	
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	航空会社にて国際線客室乗務員として勤務	
対象学科・学年	エアライン科 1年					
授業概要	英検過去問題の文法、読解、リスニング、ライティングと徹底的に学習することにより、英検準2級合格を目指します。毎朝、朝課題として英単語と英熟語を学習してください。毎回リスニングを実施します。テキスト英検準2級過去問題集を徹底的に取り組みますので各自、予習・復習を実施すること。何度も学習することにより、日常生活に必要な英語を理解し、活用することが出来るレベルを目指します。					
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					英検準2級の合格を目指す。
	○					英検準2級の英単語・熟語を書き覚える。
	○					英検準2級のリスニング問題に対応できるようになる。
	○					英検準2級の文法・読解を学習し、筆記問題に対応できる力をつける。
	○					英検準2級程度の英作文のスキルを身に付ける。
テキスト・教材 参考図書	・英検準2級過去6回全問題集(旺文社)・でる順パス単英検準2級(旺文社) ・英検準2級をひとつひとつわかりやすく(学研)					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	6	リスニング・短文の語句空所補充・文法			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	7	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	8	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	10	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	11	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	12	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	13	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	14	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	15	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	16	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	17	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	18	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・読解			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	19	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	20	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	21	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	22	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	23	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	24	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	25	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
26	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		



	27	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	28	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	29	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	30	学年末試験	後期の授業内容全般を復習しておくこと				
評価方法	(1)学年末試験(筆記)を実施する(2)授業の中で小テストを4回実施する(3)宿題提出状況以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	学年末試験	○					80%
	小テスト	○					10%
	宿題	○			○		10%
履修上の注意	授業に電子辞書または英語辞典を必ず持参してください。 出席が講義回数の3分の2に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用英語 I - ②				
科目名(英)					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	夏山恵
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	航空会社にて国際線客室乗務員として勤務
対象学科・学年	エアライン科 1年				
授業概要	基本的な単語、文法を習得し、中学校卒業レベルの英語力を習得する。 出題形式に沿った演習と精聴リスニングの訓練を行い、英検3級取得を目標とする。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
	○	○			
	○	○			
	目標				
	1200語程度の単語、熟語を覚え、応用することができる。				
	テキストの課題文について9割以上英語で解答することができる。				
	テキストのリスニング内容をほぼノーマルスピードで聞き取り、音読することができる。				
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓隆社 Baton Pass G1</li> <li>・旺文社 英検3級でる順パス単 / 英検3級出る順パス単書き覚えノート</li> <li>・過去問題演習プリント</li> <li>・ジャパントイムズ はじめての英語音読</li> </ul>				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	授業のガイダンス-授業の基本方針とスケジュールの説明、自らの動機とゴール設定の明確化			
	2	・現在時制、過去時制 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	3	・進行形、未来時制 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	4	・まとめ小テスト① ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと
	5	・疑問文、命令文、名詞、冠詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	6	・代名詞、助動詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	7	・まとめ小テスト② ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと
	8	・動名詞、不定詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	9	・形容詞、副詞、比較 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	10	・まとめ小テスト③ ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと
	11	・受動態、現在完了形 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	12	・分詞、関係代名詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	13	・まとめ小テスト④ ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと
	14	・文構造、否定疑問文、付加疑問文、間接疑問文 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	15	・前置詞、接続詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	16	・まとめテスト⑤ ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと
	17	過去問題演習と補足(リスニングを含む)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
18	過去問題演習と補足(リスニングを含む)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	

	19	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	20	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	21	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	22	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	23	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	24	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	25	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	26	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	27	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	28	実力完成模擬テスト①(筆記)	授業で学んだことを総復習してからテストに臨むこと				
	29	実力完成模擬テスト②(リスニング)	授業で学んだことを総復習してからテストに臨むこと				
	30	定期試験	授業で学んだことを総復習してからテストに臨むこと				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを5回実施する。 (3)授業への参加状況(音読の取り組み姿勢や積極的な発言) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	小テスト	○	○				10%
	授業への参加態度	○			○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英会話 I -②						
科目名(英)	English Communication I -②						
単位数	2	時間数	30	担当者	Robert Sumner		
実施年度	2020	実施時期	後期	担当者実務経験	English Teacher		
対象学科・学年	Airline 1st Grade						
授業概要	Provide students with motivation to learn English Give students confidence to believe they can improve Provide English skills for Everyday English to the work environment						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					To learn everyday vocabulary & remember key words	
		○				Study to give students confidence to express themselves	
				○		Encourage students to speak with confidence & positive attitude	
テキスト・教材 参考図書	Person to Person Third 1 Student Book with Audio CD,Talk a Lot BOOK1,Worksheets						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Summer Holidays					
	2	Making Airline Reservation					
	3	Numbers & Time expressions					
	4	Future events					
	5	Talk about school					
	6	Airline English					
	7	English for Grand staff					
	8	Health problems & Talkopoly					
	9	Leisure,Sports & Hobbies					
	10	Buying an airline ticket					
	11	Flight times & Check in					
	12	Could I have your name please?					
	13	Restrant & Airport Roleplay					
	14	Review & Test Preparation					
15	End of term Test						
評価方法	(1) Term Examination (2) Attitude and Participation in the class Evaluation: S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	態度・意欲				◎		50%
履修上の注意							

科目名	Excel						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	北島正幸		
実施年度	2020	実施時期	後期	担当者実務経験	国立大学法人にてテクニカルスタッフとして勤務		
対象学科・学年	エアライン1年						
授業概要	あらゆるビジネスシーンに最も活用されている「表計算ソフトMicrosoft Excel」。そのExcelの基本の習得を目指すとともにPCスキル並びにITリテラシーの向上を図ります。講義終了後に行われる「サーティファイExcel表計算処理技能認定試験3級」の合格を目指す。						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					Excelの表計算機能を理解し応用することができる	
		○				Excelの表計算機能を利用することができる	
		○				文字入力を10分間で300文字以上できるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	Excel2016クイックマスター（基本編） Excel文書処理技能認定試験 3級 問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Introduction・環境設定					
	2	Excelの基本					
	3	データの編集					
	4	表の編集					
	5	表の編集					
	6	ブックの印刷					
	7	グラフと図形の作成					
	8	グラフと図形の作成					
	9	ブックの利用と管理					
	10	関数					
	11	関数					
	12	データベース機能					
	13	総合学習問題					
	14	総合学習問題					
15	期末試験						
評価方法	(1)定期試験(検定試験)を実施する (2)期末試験を実施(または、レポート提出) (3)講義出席・練習問題・課題提出のすべて行って平常点100点満点とする。期末試験・検定試験の点数との平均で行う。 検定試験の結果が不調(エラー等)または受験しなかった場合は別途担当教員から試験・またはレポートを課す。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(検定試験)	◎	◎				25%
	期末試験またはレポート	◎	◎				25%
	平常点	◎	◎				50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。15回の講義のあと補講がある場合がある。						

科目名	社会教養 I -②						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	森永 久美子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	航空会社にて客室乗務員として勤務		
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	社会人になる上でのマナーや身嗜み、教養知識を身につける。まずは、就職活動における企業研究・履歴書添削・面接指導を行い就職内定へ繋げる。また、クラスや学科行事を行い学科・学年を跨いで交流を深める事でコミュニケーション力向上や協調性を身につけ業界へ適した人材育成に繋げる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		業界に適した清潔感のある身嗜みをし日常的に維持することができる	
				○		社会人としてのマナー(挨拶・電話・メール・態度など)を身につけ実践することができる	
	○					就職活動における報連相を素早く行うことができる	
	○					好感もてる表情や口調で自身の伝えたいことを話し、企業の求める人材像に相応した面接ができる	
			○			自身の立場をわきまえて行動し、周囲へ配慮することができる	
テキスト・教材 参考図書	就職活動ガイドブック、求人票、受験者報告書、配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション(目標設定・クラスルール設定・各委員役割分担)				なし	
	2	学科行事				簡単な自己紹介や新入生が学校生活に馴染めるような場の設定やコミュニケーション方法を考えておくこと	
	3	就職活動指導①(就職活動状況報告・企業研究・受験準備)				説明会資料やパンフレットを準備しておくこと 企業HPをみっておくこと	
	4	学校行事準備①(役割分担・ディスカッション)				なし	
	5	就職活動指導②(就職活動状況報告・履歴書作成)				履歴書に記載する内容をまとめておくこと	
	6	就職活動指導③(就職活動状況報告・履歴書作成・添削)				履歴書の下書きをしておくこと	
	7	就職活動指導④(就職活動状況報告・履歴書添削・面接対策)				履歴書の下書きをしておくこと 面接で話す内容を考えておくこと	
	8	就職活動指導⑤(就職活動状況報告・履歴書添削・面接対策)				履歴書の下書きをしておくこと 面接で話す内容を考えておくこと	
	9	就職活動指導⑥(就職活動状況報告・面接指導)				面接練習をしておくこと	
	10	就職活動指導⑦(就職活動状況報告・面接指導)				面接練習をしておくこと	
	11	就職活動指導⑧(就職活動状況報告・面接指導)				面接練習をしておくこと	
	12	就職活動指導⑨(就職活動状況報告・面接指導)				面接練習をしておくこと	
	13	就職活動指導⑩(就職活動状況報告・面接指導)				面接練習をしておくこと	
	14	就職活動指導⑪(就職活動状況報告・面接指導)				面接練習をしておくこと	
15	就職活動指導⑫(就職活動状況報告・面接指導)				面接練習をしておくこと		
評価方法	(1)提出物は各期限を設定し、ホームワークを数回実施する (2)自習・行事を数回実施する以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	提出物・宿題状況				◎		50%
	自習・行事への参加意欲				◎		50%
履修上の注意							

科目名	英語表現 I - ②						
科目名(英)	English expression I - ②						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	深川信子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	予備校・塾にて英語講師として勤務		
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	空港での様々な場面で使われる定型表現や会話文を反復練習し、インプットした知識をアウトプットできるよう、繰り返し練習します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				基本的な英文法を理解し使うことができる。	
	○	○				依頼表現や許可表現を理解し使うことができる。	
	○	○				特定の場面で使われる慣用表現を覚え、使うことができる。	
テキスト・教材 参考図書	配布プリント等						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	シラバス確認、チェックインカウンターでの会話①、②			授業で学習した内容を暗記できるまで繰り返し練習しましょう		
	2	チェックインカウンターでの会話③、④			授業で学習した内容を暗記できるまで繰り返し練習しましょう		
	3	手荷物のお預かり			授業で学習した内容を暗記できるまで繰り返し練習しましょう		
	4	搭乗前の食事のが案内			授業で学習した内容を暗記できるまで繰り返し練習しましょう		
	5	お土産店にて			授業で学習した内容を暗記できるまで繰り返し練習しましょう		
	6	迷子のお客様			授業で学習した内容を暗記できるまで繰り返し練習しましょう		
	7	赤ちゃん連れのお母さま、忘れ物			授業で学習した内容を暗記できるまで繰り返し練習しましょう		
	8	総復習			これまでの総復習、確認ロールプレイをします。		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する (2)授業の中で発表を行う 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート	◎	○		◎		50%
	発表	◎	○		◎		50%
履修上の注意	・スマホ使用禁止 ・授業で学習した内容を、暗記できるまで繰り返し練習する事						

科目名	韓国語 I (必須選択)						
科目名(英)	korean						
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	李 銀晶(イ・ウンジョン)		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	専門学校にて、母国語(韓国語)講師として勤務		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	この授業では、隣の国である「韓国」の社会と文化を日本社会と比べながらしっかり理解して、韓国語の文字基本会話・文法について学びます。さらに、この授業をきっかけにして日韓両国の「架け橋」になりたいという強い意志を求めて、グローバルな視野を持ち、国際的に活躍できる人物を育成します。基本的な韓国語のコミュニケーションスキルと韓国社会・文化について同時に講義を進めます。また、発音・会話練習があり、韓国語会話について自信感を高めます。さらに、韓国社会・文化の理解を得て、日韓関係について関心を深めることを目的とします。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○			○		韓国語の文字・基本会話を覚えて、基本的な韓国語コミュニケーションができる	
	○	○				韓国語の文法について理解を得て、日本語の文法との違いが比較できる。	
	○					韓国語能力試験対策(TOPIK)2級に合格に必要な知識を習得できる。	
				○		韓国社会と文化と理解して日韓両国関係の改善に寄与できる。	
テキスト・教材 参考図書	できる韓国語初級1 (DEKIRU出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業オリエンテーション ・授業目標、内容の案内・テスト及び成績評価の案内・韓国文化の理解・ハンゲルの仕組み			韓国文化の理解(PPT授業)		
	2~4	ハンゲルの仕組み 子音と母音、濃音、パッチム、合成母音			テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと		
	5	第1課 私は日本人です「～です」「～ですか」・助詞「は」			テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと		
	6~8	第2課～第4課 「～ではありません」・助詞「が」・「あります、います、ありません、いません」			テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと		
	9	第5課 会社はどこにありますか 「～にあります、います」			テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと		
	10~12	第6課～第7課 「～ます、です」・並列「～して、～くて」			テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと		
	13	第8課 漢字語数字・「～ですね、～ますね」			テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと		
	14~16	第9課～第10課 「～ます、です」(日常会話で比較的使われる方)・固有語数字			テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと		
	17	第11課 過去形았/었습니다.았/었어요			テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと		
	18~20	第12課～第13課 敬語表現-[으]십니다.-[으]세요.-[으]셨습니다.-[으]셨어요			テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと		
	21	第14課 確認「～でしょうか?～よね?」「～が、～けれども」			テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと		
	22	まとめ、総合復習			テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと		
	23	期末試験					
評価方法	1.定期試験 2.小テスト(小テストは学期中1回行います。) 3.出欠状況(無断欠席の場合は減点理由となります。) 4.授業態度 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				70%
	小テスト・宿題	○	○				10%
	出欠状況				○		10%
	授業態度				○		10%
履修上の注意							



科目名	中国語 I (必須選択)					
科目名(英)						
単位数	3	時間数	45	担当者	青柳七重	
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	フリーランスで講師・実務翻訳20年	
対象学科・学年	エアライン科1年					
授業概要	中国語の音・リズムを身に付け、発言することができる。 仕事の現場ですぐに活用できる中国語を話すことができる。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					基本の名詞文・動詞文・形容詞文で会話ができる
	○					助動詞・アスペクト助詞を使い、よりの確な表現ができる
	○					中国語検定試験準4級・4級の合格を目指す。
テキスト・教材 参考図書	中国語 Hop・Step・Jnmp (KINSEIDO)/中国語検定準4級問題集					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	第1課 声調と短母音/ 第2 課子音			無料の音声ファイルをダウンロードしておく	
	2	第3課 複母音 / 第4課 鼻母音				
	3	第5課 発音上のルール・数字・教室用語・日常用語				
	4	第6課 名詞文			新出語句の確認	
	5	第6課 動詞文				
	6	第6課 自己紹介				
	7	第6課 復習・小テスト			第6課 文法事項の確認	
	8	第7課 星座と年齢			新出語句の確認	
	9	第7課 時間詞				
	10	第7課 指示代詞・連体修飾語「的」				
	11	第7課 復習・小テスト			第7課 文法事項の確認	
	12	第8課 所有、存在の動詞「有」			新出語句の確認	
	13	第8課 量詞・家族構成				
	14	第8課 形容詞文				
	15	第8課 復習・小テスト			第8課 文法事項の確認	
	16	第9課 所在の動詞「在」			新出語句の確認	
	17	第9課 介詞「離」				
	18	第9課 連動文				
	19	第9課 疑問詞疑問文				
20	第9課 復習・小テスト			第9課 文法事項の確認		

	21	自己紹介文作成・発表	学習した文型を使って3分程度のスピーチを準備				
	22	L.1～9 まとめ					
	23	期末試験					
評価方法	(1)定期試験を実施する。(筆記) (2)各課終了後に小テストを実施する。(3)課題や目標に沿った発表をおこなう。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト	◎	○				20%
	発表		◎		◎		30%
履修上の注意	無料の音声ファイルをダウンロードし、音・意味・漢字が結びつくように常に耳を慣らしておくこと						

科目名	SPI特講						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15	担当者	島 一弘		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当実務経験	麻生にて人文科目を指導		
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	基礎計算力を付け、社会の一員として生活できるようにすることができるようことを目指す。また日本社会はもちろん外国の社会の数学で作られた仕組みやその役割・機能を理解習得を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					日本国民としての数学の基本法則や基本用語の理解ができる。	
		○				基本的な数学計算ができる。	
				○		常にあらゆるものに対して「なぜ」という疑問を持ち、問題に取り組む姿勢を持つ。	
テキスト・教材 参考図書	自作プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	基礎計算			授業の復習を丁寧に繰り返すこと		
	2	割合			授業の復習を丁寧に繰り返すこと		
	3	方程式			授業の復習を丁寧に繰り返すこと		
	4	図形の基礎			授業の復習を丁寧に繰り返すこと		
	5	グラフ			授業の復習を丁寧に繰り返すこと		
	6	面積と体積			授業の復習を丁寧に繰り返すこと		
	7	図形と角度			授業の復習を丁寧に繰り返すこと		
	8	平方根			授業の復習を丁寧に繰り返すこと		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業内での期末試験(筆記)を実施する。(2)小テスト (3)宿題・レポートを毎回実施する。(4)学習意欲(居眠り・私語)は減点 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	期末試験	◎	○				60%
	小テスト				◎		10%
	宿題・レポート	○	◎		◎		10%
	学習意欲(居眠り・私語)				◎		20%
履修上の注意							

科目名	実用英語補講 I (A1クラス)						
科目名(英)	Practical English (make-up)						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	津田徳子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	外資系企業にて秘書として勤務 専門学校にて英語教育に従事		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	国際的なビジネスの場で必要とされる英語の能力を養う事を目的に、TOEICの問題を中心にリスニング・リーディングの演習を行います。また、文法・語彙の強化に努め、TOEICのスコアアップを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					TOEIC問題を解く際に必要な文法を理解する事ができる。	
	○					TOEIC頻出単語・熟語を覚え、使用する事ができる。	
		○				様々な国の発音に慣れ、話の内容を理解する事ができる。	
		○				ビジネス文書や記事を読み、内容を理解する事ができる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TOEIC Listening&amp;Reading 問題集5 (国際ビジネスコミュニケーション協会)</li> <li>・TOEIC L&amp;R出る単特急銀のフレーズ(朝日新聞出版)</li> <li>・TOEIC 公式問題集2 (国際ビジネスコミュニケーション協会)</li> </ul>						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	補講授業の概要とシラバスの説明 Listening、Reading				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。	
	2	Listening: Part1 Reading: Part5				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく	
	3	Listening: Part2 Reading: Part5				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく	
	4	Listening: Part2 Reading: Part5				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく	
	5	Listening: Part3 Reading: Part6				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく	
	6	Listening: Part3 Reading: Part6				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく	
	7	Listening: Part3 Reading: Part6				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく	
	8	Listening: Part3 Reading: Part6				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく	
	9	Listening: Part4 Reading: Part7				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく	
	10	Listening: Part4 Reading: Part7				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく	
	11	Listening: Part4 Reading: Part7				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく	
	12	Listening: Part4 Reading: Part7				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく	
	13	Listening 通し問題(45分) 解答・解説				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく	
	14	Reading 通し問題(75分) 解答・Part5解説				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく	
15	前回解説の続きとまとめ				該当範囲の単語、イディオムの意味を調べてくる。 リスニングは前回授業のスクリプトを確認し、分からない表現を調べておく		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)朝自習プリントを実施し、その範囲に応じた小テストを数回実施する (3)事前に語彙の意味や聴解スクリプトでの表現を調べることを宿題と課す 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				70%
	小テスト	◎					15%
	宿題	◎	○		○		15%
履修上の注意	・辞書を持参(スマホ使用禁止) ・提出物は期限厳守 ・授業外での自主学習						

科目名	実用英語補講 I						
科目名(英)	Practical English (make-up)						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	深川信子		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	予備校・塾にて英語講師として勤務		
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	国際的なビジネスの場で必要とされる英語の能力を養う事を目的に、TOEICの問題を中心にリスニング・リーディングの演習を行います。また、文法・語彙の強化に努め、TOEICのスコアアップを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					TOEIC問題を解く際に必要な文法を理解する事ができる。	
	○					TOEIC頻出単語・熟語を覚え、使用する事ができる。	
		○				様々な国の発音に慣れ、話の内容を理解する事ができる。	
		○				ビジネス文書や記事を読み、内容を理解する事ができる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TOEIC Listening&amp;Reading 問題集5 (国際ビジネスコミュニケーション協会)</li> <li>・TOEIC L&amp;R出る単特急銀のフレーズ(朝日新聞出版)</li> </ul>						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	シラバス確認 Listening:Part1 Reading:Part5				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
	2	Listening:Part2 Reading:Part5				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
	3	Listening:Part2 Reading:Part5				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
	4	Listening:Part2 Reading:Part5				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
	5	Listening:Part3 Reading:Part6				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
	6	Listening:Part3 Reading:Part6				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
	7	Listening:Part3 Reading:Part6				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
	8	Listening:Part3 Reading:Part6				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
	9	Listening:Part1 Reading:Part5				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
	10	Listening:Part2 Reading:Part5				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
	11	Listening:Part3 Reading:Part6				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
	12	Listening:Part3 Reading:Part6				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
	13	Listening:Part4 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
	14	Listening:Part4 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと	
15	Listening:Part4 Reading:Part7				該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を聞くこと		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施 (2)単語テストを毎週実施 (3)朝自習プリント、宿題等の提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎					25%
	宿題・レポート	◎	○		○		25%
履修上の注意	・辞書を持参(スマホ使用禁止) ・提出物は期限厳守 ・授業外での自主学习						

科目名	実用英語補講 I						
科目名(英)	Practical English for STEP 2nd Grade (Make-Up Classes) I						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	蟻川 信三		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	福岡県立高等学校27年間勤務		
対象学科・学年	エアライン科1年生						
授業概要	就職活動の資格試験として、実用英語検定試験2級合格を目指します。英語検定2級の問題を中心に、リーディング・リスニングを中心に演習を行います。また、英文読解力・語彙の強化に努め、英語の4技能(読む・書く・聞く・話す)の表現力を高めることを目的とします。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					語彙: 英語検定2級に頻出する単語や表現を覚え、正しく使えるようになる	
		○				読む: 基本的な英文の内容を理解し、正しくその内容を読み取ることができるようになる	
		○				聞く: 様々な内容の英語を理解し、正しくその内容を聞き取ることができるようになる	
		○				書く: 基本的な単語を使用し、言いたいことをどうにか伝えることができるようになる	
テキスト・教材 参考図書	・旺文社 英検2級DAILY20日集中ゼミ ・旺文社 での順パス英検2級 1700語						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	【筆記①】 短文の語句空所補充問題①+過去問演習			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること		
	2	【筆記②】 長文の語句空所補充問題①+過去問演習			「英検3級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること		
	3	【筆記③】 長文の内容一致選択問題①+過去問演習			「英検4級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること		
	4	【筆記④】 長文の内容一致選択問題②+過去問演習			「英検5級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること		
	5	英作文&リスニング演習①			「英検6級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること		
	6	【筆記⑤】 短文の語句空所補充問題②+過去問演習			「英検7級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること		
	7	【筆記⑥】 長文の語句空所補充問題②+過去問演習			「英検8級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること		
	8	英作文&リスニング演習②			「英検9級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること		
	9	実戦問題 (2019年度第1回目)					
	10	実戦問題 (2019年度第1回目) 解答・解説			2019年度第1回不正解問題の再解答		
	11	実戦問題 (2019年度第2回目)			2019年度第2回不正解問題の再解答		
	12	実戦問題 (2019年度第2回目) 解答・解説			2019年度第2回における語彙・文法の復習		
	13	実戦問題 (2019年度第3回目)			2019年度第3回不正解問題の再解答		
	14	実戦問題 (2019年度第3回目) 解答・解説			2019年度第3回における語彙・文法の復習		
15	学年末考査【50分】&受験上の注意点と総まとめ						
評価方法	① 定期考査を実施する(筆記)。以上を下記の観点・割合で評価する ② 生成評価基準は S:90点以上 A:80点以上 B:70点以上 C:60点以上 D:59点以下 とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				100%
	前半と後半の2部構成のため、また受講する学生が同じでないため、前半・後半それぞれ終了後に定期試験にて評価を出す必要があるため。						
履修上の注意	① 授業前の予習は必ず行うこと。復習より予習の方が大切である。 ② 辞書(電子辞書可)を必ず持参すること。 ③ 筆記用具は必ず持参すること ④ 授業中のスマホ等の使用は絶対に禁止!(スマホ等での辞書アプリ禁止)						

科目名	実用英語補講 I						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	30	担当者	内丸 誌帆		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	専門学校にて講師として勤務		
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	英検準2級レベルの英語力を基に、実務に必要な用語を身に着ける接客に使う言い回しを学ぶ。アメリカ英語・イギリス英語の言い回しの違いを学び、判断することができる						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					サービス関連頻出単語を口頭で表現できる	
	○	○				基本的な文型表現を記述できる	
テキスト・教材 参考図書	旺文社 2020年度版 英検準2級 過去6回 全問題集／でる準パス単 英検準2級						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	実用英語1 補講 文型			単語テストに向けた学習		
	2	実用英語2 補講 時制の基本			単語テストに向けた学習		
	3	実用英語3 補講 完了形			単語テストに向けた学習		
	4	実用英語4 補講 疑問文			単語テストに向けた学習		
	5	実用英語5 補講 命令文			単語テストに向けた学習		
	6	実用英語6 補講 助動詞			単語テストに向けた学習		
	7	実用英語7 補講 受動態			単語テストに向けた学習		
	8	実用英語8 補講 否定表現			単語テストに向けた学習		
	9	実用英語9 補講 不定詞			単語テストに向けた学習		
	10	実用英語10 補講 動名詞			単語テストに向けた学習		
	11	実用英語11 補講 分詞			単語テストに向けた学習		
	12	実用英語12 補講 比較			単語テストに向けた学習		
	13	実用英語13 補講 関係詞			単語テストに向けた学習		
	14	実用英語14 補講 接続詞			単語テストに向けた学習		
	15	実用英語15 補講 まとめ・テスト					
評価方法	小テスト・宿題・提出物・定期試験を実施する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト	○	○				30%
	宿題・レポート		○				20%
履修上の注意	課外だけでなく講義内でも単語テストを実施し、期末の成績に反映されるので自宅学習を徹底すること						

科目名	実用英語補講 I						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	波多野 里美		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	航空会社にて国際線客室乗務員として勤務		
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	英検過去問題の文法、読解、リスニング、ライティングと徹底的に学習することにより、英検準2級合格を目指します。毎朝、朝課題として英単語と英熟語を学習してください。毎回リスニングを実施します。テキスト英検準2級過去問題集を徹底的に取り組みますので各自、予習・復習を実施すること。何度も学習することにより、日常生活に必要な英語を理解し、活用することが出来るレベルを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					英検準2級の合格できる語彙力・文法の理解ができる。	
	○					英検準2級の英単語・熟語を書き覚えることができる。	
	○					英検準2級のリスニング問題に対応できるようになる。	
	○					英検準2級の文法・読解を学習し、筆記問題に対応できる。	
	○					英検準2級程度の英作文のスキルを身に付けることができる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英検準2級過去6回全問題集(旺文社)・でる順パス単英検準2級(旺文社)</li> <li>・英検準2級をひとつひとつわかりやすく(学研)</li> </ul>						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと		
	2	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと		
	3	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと		
	4	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと		
	5	リスニング・短文の語句空所補充・小テスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	6	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと		
	7	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと		
	8	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと		
	9	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと		
	10	リスニング・短文の語句空所補充・英作文・小テスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	11	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと		
	12	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと		
	13	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと		
	14	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと		
	15	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文・小テスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
評価方法	(1)学年末試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを3回実施する。(3)宿題提出状況以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験						80%
	小テスト						10%
	宿題						10%
履修上の注意	授業中の英単語検索は、電子辞書、または英語辞典等を授業に持参してください。出席が講義回数の3分の2に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						



科目名	実用英語補講 I						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	夏山恵		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	航空会社にて国際線客室乗務員として勤務		
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	英検3級程度の英語力を基に、理解が曖昧な可能性のある英文法を学習、確認し直すことで英語運用の確実な基礎を作る。精聴リスニングと音読練習を行い、英語4技能(リスニング・スピーキング・リーディング・ライティング)を効率よく高める。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					1200語程度の単語、熟語の意味を日本語で述べるができる。	
	○	○				テキストの課題文について9割以上英語で解答することができる。	
	○	○				テキストのリスニング内容をほぼノーマルスピードで聞き取り、音読することができる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓隆社 Baton Pass G1</li> <li>・旺文社 英検3級でる順パス単／英検3級出る順パス単書き覚えノート</li> <li>・ジャパンタイムズ はじめての英語音読</li> </ul>						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	・現在時制、過去時制 ・リスニング				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	2	・進行形、未来時制 ・リスニング				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	3	・まとめ小テスト① ・リスニング				授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	4	・疑問文、命令文、名詞、冠詞 ・リスニング				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	5	・代名詞、助動詞 ・リスニング				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	6	・まとめ小テスト② ・リスニング				授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	7	・動名詞、不定詞 ・リスニング				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	8	・形容詞、副詞、比較 ・リスニング				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	9	・まとめ小テスト③ ・リスニング				授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	10	・受動態、現在完了形 ・リスニング				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	11	・分詞、関係代名詞 ・リスニング				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	12	・まとめ小テスト④ ・リスニング				授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	13	・文構造、否定疑問文、付加疑問文、間接疑問文 ・リスニング				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	14	・前置詞、接続詞 ・リスニング				教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	
	15	・まとめ小テスト⑤ ・リスニング				授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと	
評価方法	(1)定期試験を実施する。(2)授業の中で小テストを5回実施する。 (3)授業への参加状況(音読の取り組み姿勢や積極的な発言・宿題以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	小テスト	○	○				10%
	授業への参加態度	○			○		10%
履修上の注意	毎朝、朝課題として書き覚えプリントを使用し、英単語・英熟語を学習すること。						

科目名	運輸実務						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	桑原 武志		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	旅行業関連会社において企画・実務を担当		
対象学科・学年	エアライン科 1年 (鉄道・船舶コース)						
授業概要	観光業界を取り巻く様々な社会情勢を把握し、鉄道・船舶・旅行・航空業界のそれぞれの基礎的な業務知識を身につける。観光業界の様々な仕事内容についての理解を深め、業界の社会的役割を把握し、業界で働いていくために必要な専門用語の基礎知識を理解を深める。また、業界の持つ課題や将来展望についての知識を身につける。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				観光業界を取り巻く、様々な社会状況を理解し、説明することが出来る。	
	○	○				鉄道・船舶・旅行・航空に関連する基本的事項について、説明ができ、状況を理解することが出来る。	
	○		○			鉄道・空港等における基本的な運賃計算を理解し計算することができる。	
	○	○				日本の地理・世界の主要都市を覚え応用することができる。	
テキスト・教材 参考図書	プリント教材						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	オリエンテーション(授業を進めるにあたり理解すること)			授業内容に対する心構えを理解する		
	2	観光業界に関する基礎知識の理解を理解する			プリントをしっかりと確認しておくこと		
	3	鉄道業界の基本的知識を理解する			予習・復習をし授業内容に対する理解度テストの実施		
	4	船舶業界の基本的知識を理解する			予習・復習をし授業内容に対する理解度テストの実施		
	5	旅行業界の基本的知識を理解する			予習・復習をし授業内容に対する理解度テストの実施		
	6	航空業界にかかわる鉄道・船舶・旅行とのつながりを理解し基本的知識を理解する			予習・復習をし授業内容に対する理解度テストの実施		
	7	時刻表の活用(簡単な旅程に対する複数の時刻の調べ方)			予習・復習をし授業内容に対する理解度テストの実施		
	8	時刻表の活用(簡単な旅程に対する複数の時刻の調べ方)			予習・復習をし授業内容に対する理解度テストの実施		
	9	航空会社の職種及び職種ごとの仕事内容を学ぶ			予習・復習をし授業内容に対する理解度テストの実施		
	10	鉄道会社の職種及び職種ごとの仕事内容を学ぶ			予習・復習をし授業内容に対する理解度テストの実施		
	11	旅行会社の職種及び職種ごとの仕事内容を学ぶ			予習・復習をし授業内容に対する理解度テストの実施		
	12	主要航空会社のプロフィール			予習・復習をし授業内容に対する理解度テストの実施		
	13	日本地理(新幹線駅名・観光地・都市及び空港コード)			予習・復習をし授業内容に対する理解度テストの実施		
	14	日本地理(新幹線駅名・観光地・都市及び空港コード)			予習・復習をし授業内容に対する理解度テストの実施		
15	授業内容の振り返り			最終確認テストの実施			
評価方法	(1)定期試験の実施 (2)業界に関するレポートの作成・提出 以上を下記の観点・割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	宿題・レポート	○	◎				50%
履修上の注意							